

## 1. <施策の概要>

基本理念	快適な暮らしを支える充実した居住環境のまちづくり	統括課	事業部 建設課
基本方針	基盤整備(道路・河川)		
施策名	基盤整備(道路・橋りょう・公園)	関連課	
方針・目標等	◆新旧格差のないまちづくり。 ◆道路整備による生活環境向上。 ◆防災に強いまちづくり。 ◆住民協働による社会基盤管理。		
実施内容	◆重点化政策にかかる道路整備(祝園20号線、菅井・菱田線等)。 ◆旧市街地の下水道整備に併せて生活環境の向上を図るため、道路整備の推進。 ◆道路、都市公園管理について、クリーンパートナー制度を活用した住民協働の推進。 ◆橋りょうの適切な維持管理。		

## 2. <指標の設定>

重点	指標名	単位	他団体比較		算式・引用等			
			団体名	実績	年度			
①	道路改良率(町道全延長)	%					改良済み道路延長/道路延長	
②	道路舗装率(町道全延長)	%					舗装済み道路延長/道路延長	
③	道路改良率(1級町道)	%					改良済み道路延長/道路延長	
④	道路舗装率(1級町道)	%					舗装済み道路延長/道路延長	
⑤	クリーンパートナー制度登録団体数	団体					道路、公園、緑地の合計	
			H20(実績)	H21(実績)	H22(実績)	H23(実績)	H24(試算)	H25(試算)
①	目標		53.0	53.5	54.0	54.5	54.5	54.5
	実績		52.8	53.1	53.3	53.5		
②	目標		79.2	79.3	79.8	80.0	80.0	80.0
	実績		79.4	79.8	79.8	79.9		
③	目標		72.2	72.4	72.7	72.8	72.8	72.8
	実績		72.3	72.3	72.7	72.7		
④	目標		99.6	99.6	99.6	99.6	99.6	99.6
	実績		99.6	99.6	99.6	99.6		
⑤	目標		3	7	9	14	15	16
	実績		3	7	9	14		

### 3-1. <指標から読み取れる成果と課題>

・道路舗装率の1級町道分については、舗装改良を進めてきたことにより比較的高い数字を示しているが、町道全体を見た場合、山間部などにある農道、林道的色合いの強い道路についても町道として認定していることから、高い数字とはなっていない。

・道路改良のネックとしては、本町の地理的な課題として鉄道と府道が平行していることから道路整備を行うに当たり踏切の拡幅改良は不可欠であるが、鉄道事業者から車両の滞留場所がないなどの理由で難色を示されている状況にある。

・クリーンパートナー団体の拡充により、住民と協働した公共施設の管理が進んでいる。

### 3-2. <住民ニーズ等を踏まえた課題・他自治体の取り組みから学べる点>

・生活道路整備については、新旧格差のないまちづくりの観点から、随時地元自治会等の要望を受け整備を進めているところではあるが、旧集落については人家が建ち並び道路拡幅を行うには困難な状況にあることから、拡幅可能な箇所から緊急車両等が家屋の近くまで近づけるような方向で整備を進めているところであり、また、通学路についても歩道の整備を順次進めている。

・橋りょうの維持管理について、経費削減のため従来の橋りょうが傷んでから架け替え工事を行う「対処療法型」の維持管理から、橋りょうの老朽化が進む前に計画的な補修を行い橋りょうを長持ちさせる「予防保全型」の維持管理に移行し、併せて耐震対策の観点から、道路橋長寿命化修繕計画策定を進める。

#### 4-1. <施策を構成する事業>

重点	部門 /事業名 /種別/決算書説明頁	事業費(人件費含む)/事業費のみ/事業費一財 <単位:千円>					
		H20(実績)	H21(実績)	H22(実績)	H23(実績)	H24(予算)	H25(試算)
1	建設課	-	131,982	191,658	32,127	196,777	196,777
	道路改良事業(交付金分)	-	119,356	175,260	27,950	192,600	192,600
	投資的事業	189	64,041	106,867	2,777	115,070	115,070
2	建設課	-	114,361	116,204	140,747	137,807	137,807
	道路維持管理事業	99,045	94,487	99,530	123,084	120,144	120,144
	一般事業	187	94,362	99,408	122,960	120,002	120,002
3	建設課	-	50,612	48,955	49,903	57,260	57,260
	都市公園維持管理事業	33,436	41,625	41,773	43,462	50,819	50,819
	一般事業	-	41,625	41,773	43,462	50,819	50,819
4	建設課	-	2,230	3,157	3,376	4,049	-
	緊急雇用対策事業(道路・公園事業分)	-	1,390	2,437	2,947	3,620	-
	一般事業	127	0	0	0	0	-
5	建設課	-	33,787	22,704	30,245	28,864	28,864
	道路新設改良単費事業	11,363	29,640	20,607	26,381	25,000	25,000
	投資的事業	189	29,640	0	26,381	0	25,000
6	建設課	-	-	12,346	6,925	-	-
	南・中学校線道路改良事業(繰越明許)	-	-	10,967	6,027	-	-
	投資的事業	191	-	5,555	0	-	-
7	建設課	-	-	27,436	42,949	-	-
	舟・滝ノ鼻線道路改良事業(繰越明許)	-	-	25,100	37,445	-	-
	投資的事業	191	-	13,805	0	-	-
8	建設課	-	-	10,385	10,665	-	-
	僧坊・前川線道路改良事業(繰越明許)	-	-	10,385	9,240	-	-
	投資的事業	191	-	5,712	0	-	-
9	建設課	-	-	6,615	22,833	-	-
	下粕地区排水路整備事業(繰越明許)	-	-	6,615	19,925	-	-
	投資的事業	191	-	3,638	0	-	-
10	建設課	-	1,894	1,650	16,492	2,351	2,351
	土木総務事務費(建設課)等4事業	884	820	849	14,208	2,058	2,058
	-	-	801	834	11,690	2,048	2,048

#### 4-2. <施策を構成する事業の成果と課題>

・道路新設改良の単独工事では、旧市街地の下水道工事に併せて従来からの要望があった側溝や路肩の修繕などを進めている状況にあり、事業を併せることで効率的な整備が図れ、周辺住民からの評判は良好である。

・今後道路整備事業については限られた財源で効率的な効果を発揮するため、整備路線の選択と集中を行い整備を進める必要がある。

・道路維持管理事業では、新興住宅からの要望や意見、苦情などが多くあり、それらに対する応急工事などの対応が発生している。

#### 5. <施策の今後の方向性>

・旧市街地の道路整備、集落間道路の整備、特に山手幹線、国道163号、1級河川煤谷川整備に伴う地元要望の道路整備を重点的に推進していく。

・下水道整備と併せた道路整備を引き続き進めていく。

・道路の維持管理について、旧市街地はもとより桜が丘、光台等の新市街地についても、今後、舗装、道路照明等の各施設について老朽化が見え始めており順次修繕が必要な時期となっている。

・今後においてもクリーンパートナー制度の啓発を行い、住民と協働した維持管理の推進を図る。

・今後、橋りょうの維持管理については、交付金の活用などの財源確保に努めるとともに、維持管理経費の縮減を目指す。